独立行政法人国立文化財機構　文化財防災ネットワーク推進事業

平成31年度（令和元年度）美術館・歴史博物館重点分野推進支援事業

平成23年4月当時の石巻文化センター周辺

シンポジウム

文化財を守り伝える ❷

東日本大震災から8年の今、これから

参加無料（事前申込不要）

［日　時］令和元年 10月26日㊏

13:30～17:00（受付は13:00から）

［会　場］けいはんなオープンイノベーションセンター（KICK）2階 ミュージアムホール

JR 祝園駅・近鉄新祝園駅～KICK 無料シャトルバスあり

詳細は裏面をご参照ください

石巻文化センターでの文化財記録・梱包

第1部　東日本大震災における文化財レスキュー

「現地における文化財レスキュー」

「被災文化財の修理について」

第2部　被災地の現状とこれから

「宮城県からの報告」

第3部　東日本大震災から8年の今、これから

座談会

※講演者等、最新情報は京都国立博物館の公式サイトをご参照ください。

石巻文化センターでの文化財救出（撮影：寺口淳治氏）

主　催：独立行政法人国立文化財機構 京都国立博物館　後　援：京都府・木津川市・精華町

シンポジウム 文化財を守り伝える②

東日本大震災から8年の今、これから

①板碑拓本の救出

［日　時］

令和元年 10月26日㊏

13:30～17:00

②古民具のクリーニング作業

③油絵のクリーニング作業

※①～③ 撮影場所：石巻文化センター

2011年3月11日の東日本大震災から8年が過ぎました。今でも被災地では、様々な分野で復興が懸命に進められています。この震災によって博物館をはじめとする文化施設は甚大な被害を受け、数多くの文化財が被災しました。現地では、収蔵・展示に向けた博物館や資料館など、施設の復興作業が続いています。そのため、8年経過した今でも、救出された文化財の多くは一時的に保管された状態です。文化財を後世に伝えるため、絶え間ない努力が続いています。

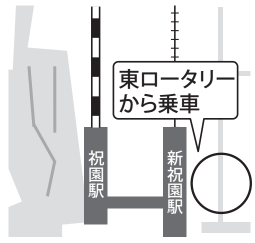
本シンポジウムでは“東日本大震災から8年の今、これから”をテーマに、現地で行われた文化財レスキュー活動と被災した文化財の修理について紹介します。また、8年経過した被災地の現状と今後に向けた取り組みについて、宮城県から報告いただきます。現在も続く被災地での取り組みについて、広く御理解いただく機会となれば幸いです。

会場までのアクセス

［会　場］けいはんなオープンイノベーションセンター（KICK）　［所在地］京都府木津川市木津川台9丁目6番

JR 祝園駅・近鉄新祝園駅発着シャトルバス乗降場所

※交通状況により出発時刻が遅れる場合があります。



JR 祝園駅・近鉄新祝園駅～KICK
無料シャトルバス運行（事前申込不要）
【時刻表】

JR 祝園駅・近鉄新祝園駅→KICK 行

12:40	13:25	14:10

KICK→JR 祝園駅・近鉄新祝園駅行

17:10

公共交通機関をご利用の場合

■**京都から**
「京都駅」▶近鉄京都線「新祝園駅」▶奈良交通バス*1（所要約50分）

■**大阪から**
「京橋駅」▶JR学研都市線「祝園駅」▶奈良交通バス*1（所要約70分）
「本町駅」▶中央線・近鉄けいはんな線「学研奈良登美ヶ丘駅」▶奈良交通バス*2（所要約60分）
「難波駅」▶近鉄奈良線「生駒駅」▶けいはんな線「学研都市登美ヶ丘駅」▶奈良交通バス*2（所要約60分）

*1奈良交通バス36・37・56系統で「公園東通り」下車
*2奈良交通バス56系統で「公園東通り」下車

［問い合わせ先］ **京都国立博物館 学芸部列品管理室**（9：30～17：30）
〒605-0931 京都府京都市東山区茶屋町527　**TEL：075-531-7516　https://www.kyohaku.go.jp**